

第36回電気泳動学会総会日程

総会会長 新潟大学理学部化学 菅野 浩
会 期 昭和 60 年 10 月 5 日 (土) , 6 日 (日)
会 場 新潟大学教養部 (新潟市五十嵐二の町 8050)

第 1 日 (10月 5 日, 土)

午前の部

9 : 25 — 9 : 30 開会の辞 (総会会長 菅野 浩)
9 : 30 — 12 : 06 一般演題 (1 - 12)
12 : 06 — 13 : 00 休憩 (評議員会)

午後の部

13 : 10 — 13 : 20 児玉賞授賞式
13 : 20 — 14 : 20 受賞講演
14 : 20 — 15 : 05 教育講演
15 : 05 — 15 : 20 記念写真
15 : 20 — 17 : 04 一般演題 (13 - 20)

18 : 30 — 20 : 30 会員懇親会

第 2 日 (10月 6 日, 日)

午前の部

9 : 25 — 12 : 01 一般演題 (21 - 32)
12 : 01 — 12 : 55 休憩 (編集委員会)

午後の部

13 : 00 — 13 : 20 総会議事
13 : 20 — 14 : 05 特別講演
14 : 05 — 14 : 15 休憩
14 : 15 — 17 : 00 シンポジウム (S1 - S6)
17 : 00 — 閉会の辞 (会長 平井秀松)

ポスターセッション

第 1 日 午 前 10 : 30 — 11 : 30 (P1 — P9)

第 2 日 午 前 10 : 30 — 11 : 30 (P10 — P15)

お知らせとお願い

参加者の方へ

- 総会参加費として1人4,000円いただきます。会場受付でご納入下さい。受付終了後、参加章（名札）を見やすい所にお付け下さい。
- 学会費未納（昭和60年度会費6,000円）の方はこの機会にご納入下さい。
- 第1日目、10月5日（土）18：30よりホテルイタリア軒（新潟市中心街）において会員懇親会を開きますので奮ってご参加下さい。
懇親会費3,000円は総会会場受付で総会参加費と共に納め下さい。なお、一般演題終了後に懇親会場行きの貸切バスを用意します。
- 昼食は生協第一食堂・第二食堂（会場案内図参照、会場より2～3分）をご利用下さい。営業時間は午前10：20から午後5：00までです。なお、他に徒歩で10分ほどの範囲内に数軒の飲食店があります。
- 駐車場は狭いので他の交通機関をご利用下さい。

交通・宿泊案内

- 宿泊は「生物物理化学」29巻3号掲載の総会開催案内第1報をご覧ください。
- 国鉄越後線ご利用の方は次の列車が便利と思われれます（新潟—内野、190円）。

新潟 駅発	8：05	8：26	9：10	9：32	9：59
新潟大学前駅発	8：30	8：49	9：34	9：53	10：18
内野 駅発	8：33	8：52	9：37	9：56	10：21

新潟大学駅、内野駅より会場まで徒歩で各々15～20分。内野駅よりタクシー約6分（約500円）。新潟大学駅にはタクシーはありません。
- バス：新潟駅前などから新潟大学行に乗り（約50分、360円）、終点・新大西門下車。会場まで徒歩3分。バスは約15分間隔ですが増発予定です。
- タクシー：新潟市内より所要時間35～40分、約2,500円。

一般演題口演者の方へ

- 講演時間は1演題につき10分、討論時間は3分です（時間厳守）。
- スライドは35mm判に限り、10枚以内とします。映写機は1台だけ用意します。
スライド受付は講演30分前までにを行い、各自でチェンジャーに挿入し試写して、順序・向きを確認して下さい。
講演終了後、スライドを同受付でお受取り下さい。
- 次の演者は10分前までに次演者席にお着き下さい。

一般演題ポスター発表の方へ

- 縦2.2m、横0.9mの木製パネルを1演題につき1枚用意致します。パネル面の使い方（字数、字の大きさ、図・表、etc.）は自由ですが、上から30cm以内に演題、氏名、所属を表示して下さい。
- ポスターの掲示は第1日・第2日共に10：20までに完了して下さい。鋏・テープ類は用意してあります。討論時間は10：30～11：30です。
- ポスターの撤去は両日共に15：00までに行なって下さい。

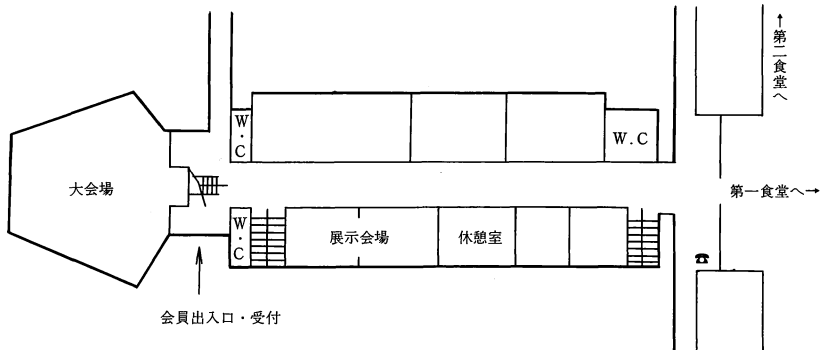
会場案内

- 特別講演・教育講演・受賞講演・シンポジウム・一般演題・総会：大会場（No. 260講義室、B棟2階・3階）
- ポスターセッション：No. 358講義室（B棟3階）
- 展示会：No. 258、No. 256講義室（B棟2階）
- 評議員会・編集委員会：大会議室（C棟1階181号室）
- 休憩室：No. 254講義室（B棟2階）、No. 356講義室（B棟3階）
- 大会本部：No. 360室（B棟3階）

会場案内図

総会会場略図（新潟大学教養部B棟2階）

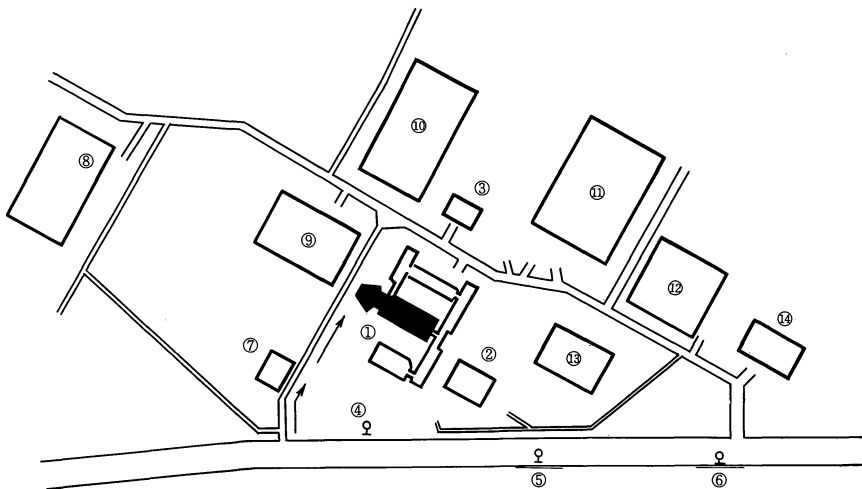
ポスターセッション会場・大会本部：3階（展示会場の真上）
 評議員会室・編集委員会室は別棟です。当日、案内表示を致します。
 休憩室は3階にもあります。



総会会場周辺図（新潟大学五十嵐キャンパス）

- | | | |
|---------------|------------|--------------|
| ① 総会会場（教養部B棟） | ⑥ バス停・新大正門 | ⑪ 農学部 |
| ② 第一食堂 | ⑦ テニスコート | ⑫ 法・経・人文・三学部 |
| ③ 第二食堂 | ⑧ 工学部 | ⑬ 中央図書館 |
| ④ バス停・新大西門 | ⑨ 理学部 | ⑭ 新潟大学事務局 |
| ⑤ バス停・新大中門 | ⑩ 教育学部 | |

（矢印はバス停・新大西門から総会会場への順路を示します）



連絡先

新潟市五十嵐二の町8050 新潟大学理学部化学 ☎0252-62-6165（直通）

第36回電気泳動学会総会プログラム

〔特別講演〕

第2日(10月6日) 13:20~14:05

司会 菅野 浩

Flow cytometryの医学,生物学への応用 順天堂大・医・免疫学 奥村 康……………(287)

〔教育講演〕

第1日(10月5日) 14:20~15:05

司会 竹尾 和典

蛋白質分離分析法の最近の進歩 都立大・理・化学 ○磯辺 俊明・奥山 典生…(288)

〔児玉賞受賞講演〕

第1日(10月5日) 13:20~14:20

司会 平井 秀松

1. レクチン親和電気泳動—抗体親和転写法によるヒト α -フェトプロテインの分離検出とその臨床応用— 香川大・保健管理センター 武田 和久……………(289)
2. 肝疾患およびヨークザック腫瘍におけるAFPの意義—とくにレクチン親和電気泳動法による分析— 東大・医・第1内科 遠藤 康夫……………(290)
3. 急性のhypoxiaにおける心筋ならびに血液のLDH-, CK-isoenzymeの変化 大阪医大・病態検査学 林 泰三……………(291)

〔シンポジウム〕

第2日(10月6日) 14:15~17:00

脳神経系領域における電気泳動の応用 司会 新潟大・脳研 佐武 明

1. 脳に特有な蛋白質の分離と性質 都立大・理・化学 ○磯辺 俊明・真鍋 敬…(292)
門屋 利彦・田村 明敬
市村 徹・奥山 典生
2. 神経細胞体のニューロフィラメント蛋白質 新潟大・脳研・神経内科 ○豊島 至……………(293)
3. 細胞骨格の軸索内輸送—電気泳動による移動像の解析— 東大・医・脳研 ○田代 朋子……………(294)
4. サイトカルビン(細胞骨格関連カルモデュリン結合蛋白質)による細胞骨格制御 阪大・医・高次神経研・神経薬理生化学 ○祖父江憲治……………(295)
5. ミエリン膜蛋白質の構造と機能 埼玉医大・第1生理 ○植村 慶一・北村 邦男…(296)
鈴木 勝・坂本 安
吉村 和法
6. 小脳可溶性蛋白質に関する研究 新潟大・脳研・神経薬理学 ○高橋 康夫……………(297)

〔一般演題〕

第 1 日 (10月 5 日)

午前の部

(9 : 30 ~ 10 : 22)

座 長 小林 貞男

- | | | |
|------------------------------------|----------------------|--|
| 1. セルロース・アセテート膜による血清
蛋白分画の基礎的検討 | 香川医大・検査部 | ○多田 達史・伊関喜久男… (298)
林 秀生・永礼 雅美
村川 彰代・梶川 達志
中尾 義喜・稲岡 義宣
新見 道夫・河西 浩一 |
| 2. ニトロセルロース膜と蛋白との結合の
解析 | 山口大・医・第 1 生化学 | 中村 和行・田中 経彦… (299)
藤本 正憲・鈴木 亮輔
桑原 亮・○竹尾 和典 |
| 3. リポ蛋白分画の酵素法による新しい脂
質染色法 | 和光純薬・研究所
埼玉医大・生化学 | ○花田 寿郎・野原 秀子… (300)
山西 一彦
新井 京子・坂岸 良克 |
| 4. 血清蛋白分画の特徴点の検出論理 | オリンパス光学
浜松医大・検査部 | ○金子 伸隆・宮内 誠… (301)
藤森 暁
石田 勝彦・前川 真人
濱崎 淳子・須藤加代子
菅野 剛史 |

(10 : 22 ~ 11 : 14)

座 長 竹尾 和典

- | | | |
|--|-----------------------------|-------------------------------------|
| 5. 等速電気泳動のゾーン界面の理論(続報) | 東京医歯大・教養部・物理学 | ○島尾 和男…………… (302) |
| 6. 自動細胞電気泳動解析装置の開発 | 島津製作所
独協医大・第 1 病理学 | ○藤井 英彦・有沢 岳… (303)
秋山 純一
山田 喬 |
| 7. 親和電気泳動法によるホスホリラーゼ
のグリコーゲン結合部位におよぼすA
MPの影響 | 山口女大・家政・食栄
山口大・医・第 1 生化学 | ○鈴木 公・松岡 洋子… (304)
中村 和行・竹尾 和典 |
| 8. 馬胎膜の特異的抗原について | 麻布大・獣医・生理 1 | ○松下 博治・西田 利穂… (305)
藤岡富士夫 |

(11 : 24 ~ 12 : 06)

座 長 荻田 善一

- | | | |
|--|--|------------------------------------|
| 9. ヒト triosephosphate isomerase (T
PI) アイソザイムの由来について: 単一
構造遺伝子説についての日本人変異型
を用いた証拠 | 放射線影響研 | ○浅川 順一…………… (306) |
| 10. マウス-ラット hybrid 細胞におけるミ
トコンドリア SOD の種特異的発現に
ついて | 東京学芸大・生物学 | ○村上 潤・井上 勤… (307) |
| 11. マウス初期胚の発生過程における蛋白
成分の変動 | 富山医薬大・和漢薬研・
病態生化学
富士薬品工業・技術部
富山医薬大・和漢薬研・
病態生化学 | ○林 和子…………… (308)
坂本 栄子
荻田 善一 |
| 12. 3'-Me-DAB 発癌過程で出現する蛋白
質の分離精製と性質 | 昭和大・医・第 2 生化学 | ○門福 強樹・佐藤 永雄… (309) |

午後の部

- | (15:20~16:12) | 座長 | 坂岸 良克 |
|---|---|---|
| 13. 高速液体クロマトグラフィーによるアポ蛋白分析 | 九大・医・第3内科 | ○松浦 尚志・宮田 康司… (310)
古賀 俊逸 |
| 14. 高速液体クロマトグラフィーによるヒト松果体組織培養液に遊離したインドールアミンの測定 | 都養育院病院・病理部
東大・医・病理学 | ○田口 智也・南波 邦治… (311)
嶋田 裕之
森 亘 |
| 15. 等電点電気泳動による神経変性疾患の髄液蛋白分画 | 関東通信病院・神経内科
同上・脳神経研究部
東京医歯大・医・検査部 | ○新井 雅信・池田 正行… (312)
織茂 智之・黒沢 崇四
冷牟田英三
島野美登里
芝 紀代子 |
| 16. Acid Violet 17染色を用いた高分解能アガロースゲル電気泳動法(第1報)―髄液中の oligoclonal bands の検出を目的とした臨床検査への応用― | 日大・板橋病院・臨床検査科
同上・医・臨床病理学
同上・神経学
コーニングメディカル | ○橋本寿美子…………… (313)
熊坂 一成・河野 均也
神津 仁
林 敏幸・福地 和恵 |
| (16:12~17:04) | 座長 | 井上 勤 |
| 17. 2次元micro電気泳動法によるEuh-adra 属脳神経節蛋白質の解析 | 東京学芸大・生物学
慶応大・医・生理学
東京学芸大・生物学 | ○浅賀 宏昭・吉野 洋子… (314)
田村 真弓
藤城 正敏
井上 勤 |
| 18. ミクロ2次元電気泳動法による耳下腺唾液蛋白の泳動像 | 自治医大・法医学・人間生物学 | ○土田 修一・西海 栄一… (315)
吉田 治弘・池本 卯典 |
| 19. スタッキングシステムを利用した2次元電気泳動法その2. 羊水の2次元電気泳動像 | 山口大・医・産科婦人科
同上・第1生化学 | ○成松 昭夫・富松 健… (316)
広田 正幸・渡木 邦彦
鳥越 正
竹尾 和典 |
| 20. 溶毒素ストレプトリジンOの2次元電気泳動 | ヤトロン・船橋総合研 | ○野内 文夫・竹脇 俊一… (317)
沢村由紀子・徐 吉夫 |

第2日 (10月6日)

午前部の部

- | (9:25~10:17) | 座長 | 大橋 望彦 |
|---|---|--|
| 21. 尿細管性蛋白尿の電気泳動分析―免疫反応による泳動成分の同定 | ダイナボット
新潟大・理・化学
新潟大・医・第2内科 | ○奥山 和美…………… (318)
菅野 浩
下條 文武・荒川 正昭 |
| 22. ミニスラブ電気泳動の尿蛋白解析への応用―免疫グロブリン異常症を中心に― | 慶応大・医・中検 | ○岡村 晶子・大竹 皓子… (319)
松本宏治郎・加野象次郎 |
| 23. 正常ヒト尿蛋白分画の主バンドについて | 東京医歯大・検査部
日本バイオラッド
東京医歯大・臨床検査技師学校 | ○金森きよ子・芝 紀代子… (320)
原田東美子
森光智恵美 |
| 24. セルロース・アセテート膜2次元電気泳動によるポリクローナル抗体の分離 | 都老人研・生化学 | ○戸田 年総・藤田 敬子… (321)
大橋 望彦 |

(10:17~11:09)

座長 吉田 光孝

25. Immobililineによる等電点分画法を用いたtransferrin microheterogeneityの検討(3) 昭和大・医・第1生化学 ○金丸 育恵・牧野 義彰…(322)
紺野 邦夫
26. ポリアクリルアミドゲル等電点電気泳動法(PAGIEF)による赤血球酵素型EsD, AcP, PGM1の同時検出法について 東京女子医大・法医学 ○大上 治・中村 茂基…(323)
阿部 和枝
27. 基質特異的酵素のザイモグラム法 富山医薬大・和漢薬研・病態生化学 荻田 善一・○丸山由紀子(324)
黒沢 信幸
28. 迅速で経済的なプラスミドの精製法 富山医薬大・和漢薬研・病態生化学 ○森 篤雄・荻田 善一…(325)

(11:09~12:01)

座長 遠藤 康夫

29. イムノブロット法による唾液システインプロテイナーゼインヒビターの解析 日本歯大・新潟歯・口腔生化学 ○伊勢村知子・真田 一男…(326)
30. Western blotting法による血漿von willebrand因子のmultimericパターンの検出 山口大・医・小児科 ○近藤 穂積・小林 邦彦…(327)
31. ヒト α_1 -T glycoproteinに関する研究(第1報)—ヒト α_1 -T glycoproteinの精製法の確立— 自治医大・臨床病理学 ○和田 守史・伊藤 喜久…(328)
櫻林郁之介・河合 忠
32. 運動による血漿蛋白質の変化 昭和大・医・第1生化学 ○弘 卓三・牧野 義彰…(329)
紺野 邦夫
同上・第2生化学 門福 強樹・佐藤 永雄
東京医大・八王子医療センター・内科 岩根 久夫

〔一般演題・ポスターセッション〕

第1日(10月5日)

(10:30~11:30)

- P1. IgG- λ 型M-蛋白血症例に認められたLDH-IgG複合体の免疫化学的研究(第2報) 花園病院・研究検査科 ○藤田 清貴・草薨 睦子…(330)
自治医大・臨床病理学 櫻林郁之介
- P2. LDH失活因子の免疫化学的性状 浜松医大・検査部 ○前川 真人・須藤加代子…(331)
岩原 邦宏・菅野 剛史
- P3. 抗ヒトLDH・HおよびMサブユニット抗体の免疫化学的性状 浜松医大・検査部 ○須藤加代子・前川 真人…(332)
菅野 剛史
- P4. LDHを不活化した酵素結合免疫グロブリンの検索法 共済立川病院・中検・生化学 ○佐々木 博・森 皎祐…(333)
東邦大・理・生物化学 吉田 光孝
東京女子医大・生化学 降矢 燦
- P5. In vitroで自然発現したLDH結合性IgGによるanomaly 兵庫医大・中検 ○桑原 純子・戸沢 辰雄…(334)
内田恵理子・新谷 如理

- P6. アミラーゼ結合性免疫globに結合する isoamylase 兵庫医大・中検 ○佐藤 仁美・戸沢 辰雄… (335)
林 景子・柴田 宏
- P7. ALP₁を伴った免疫グロブリン結合性 ALPの高分子化を示す試み 新潟ガンセンター・化学検査室 ○佐藤 豊二…………… (336)
県立吉田病院 吉田 邦子
新潟ガンセンター・化学検査室 高橋 毅
同上・泌尿器科 坂田安之輔
同上・外科 佐野 宗明
同上・内科 齊藤 征史
- P8. 多量の残存結合能を有したGOT結合性免疫グロブリンの1症例 慶応大・医・中検 ○堀井 康司・加野象次郎… (337)
同上・内科 松本宏治郎
石井 裕正
- P9. 髄液中にのみ認められたALP結合性免疫グロブリンの2症例 日大・医・臨床病理学 ○熊坂 一成・河野 均也… (338)
同上・神経学 神津 仁
同上・板橋病院・臨床検査科 橋本寿美子

第2日 (10月6日)

(10:30~11:30)

- P10. ラット血清中への十二指腸由来アルカリ性ホスファターゼ出現について 埼玉医大・生化学 ○小山 岩雄・菰田 二一… (339)
名古屋市大・薬学 新井 京子・坂岸 良克
池沢 宏郎
- P11. ミニスラブ電気泳動法による血清ALP isozyme 分析法 虎の門病院・臨床化学・ ○川上 圭子・塚田 敏彦… (340)
冲中記念成人病研 中山 年正・北村 元仕
- P12. ヒト回腸アルカリ性ホスファターゼの特徴について 東京警察病院・中検1部・ ○三浦 雅一・松崎 広子… (341)
臨床化学 菰田 二一・坂岸 良克
埼玉医大・生化学
- P13. NAD⁺から生成したLD阻害物質とLDアイソザイムサブバンドの生成 東京警察病院・中検1部・ ○松崎 広子・平野 哲夫… (342)
臨床化学 三浦 雅一
- P14. FPLCシステムによるアミラーゼ・サブバンドの分離 日本歯大・新潟歯・中検 ○佐々木弘子…………… (343)
同上・内科 柴崎 浩一
新潟大・医・検査診断学 杉田 収
- P15. ヒトC-reactive protein (CRP)に対する単クローン抗体の作製 腫瘍研・日本バイオテスト研 ○畠山 雅彦・布村 渉… (344)
腫瘍 隆 平井 秀松